〔２０２６年度〕

繊維製品品質管理士試験

〔V〕論　文

論文の試験は、社会および繊維産業の現状の理解のうえに、TES として必要な識見を問うものです。評価は論点の的確性、内容の深さおよび論旨の一貫性によります。

◆注　意◆

1．問題は開始の合図があるまで開かないでください。
2．開始とともに、受験番号(４ケタ)と氏名を必ず解答用紙に記入してください。
3．問題用紙に解答用紙が１枚はさみこんであります。解答用紙が入っていない場合、
　または２枚以上入っている場合は申し出てください。
4．解答は、解答用紙の表にだけ記入し、裏には書かないでください。また、矢印に沿って横書きで書いてください。
　【書き方について】
　①書き出しは１マス空けてください。
　②改行して段落を変えるときは、書き始めを１マス空けてください。
　③読点「、」、句点「。」は１マス使ってください。ただし、行の最初には「、」や「。」を入れずに、１行前の行末の文字のところに入れてください。
5．解答は、600 字～800 字で記入してください。
6．解答用紙は、書き損じても再交付しません。十分気をつけて解答してください。
7．下書きには、問題用紙の余白を使ってください。
8．印刷が不鮮明な場合は申し出てください。ただし、問題に関する質問は一切受け付けません。
9．解答を書き終えても、また、試験放棄しても試験が終わるまで退室できません。
　トイレに行きたくなった場合、あるいは気分が悪くなった場合は、手をあげて監督者に申し出てください。
10. 試験開始後は、参考書籍やテキストなどの使用を禁止します。また、携帯電話や時計型端末など電子機器類の使用も一切禁止します。使用が発覚した場合には、厳正に対処します。
11. 試験終了後は、指示があるまで着席のまま待機してください。
12. 試験中、顔写真と照合のため監督者が回ってきたときには、マスクや帽子などを着用されている場合は外して、顔をあげてください。
13. 試験会場内は禁煙です。

次の論題に対して、600 字～800 字で答えなさい。

【論 題】

持続可能な循環型社会の実現には多くの課題があり、包括的な取り組みが求められている。繊維・アパレル業界においても、環境負荷の軽減対策は重要である。この取り組みを効率的に推進し、わかりやすく発信する指針として、2024 年に経済産業省から『繊維製品の環境配慮設計ガイドライン』として、環境配慮設計項目 11 項目が示された。その中の具体的な例として 1)環境負荷の少ない原材料の使用、2)安全性への配慮、3)水資源への配慮、4)廃棄物の抑制、5)繊維製品のリサイクルなどがある。

ここにあげた 5 項目の中から焦点をしぼり、生産者または消費者の立場からあなたが考える具体的な取り組みを提案しなさい。また、その取り組みによってさらに生じる可能性のある課題についてあなたの考えを述べなさい。

〈以下の余白は下書きに使ってください〉

余白

余白